

# 1学年だより



西東京市立柳沢中学校  
令和7年12月24日  
No.25

## 2学期が終わった！

長かった2学期も明日で終業式を迎えます。

この2学期を振り返ると、9月の生徒会役員選挙、川越校外学習、10月の合唱コンクールと様々な経験を積み重ねる中で、みなさん一人一人が中学生として着実に成長を遂げてきたように感じます。

また、同じ目的に向かって努力する中で、お互いに協力し合い、支え合い、励まし合い、高め合いながら、集団としても一歩一歩の成長の跡がうかがえます。

一方、この2学期を振り返る中でいくつかの課題も明らかになりました。三者面談等のなかで見つかった個人の課題や、普段の学校生活、校外学習や合唱コンクール等の行事を通して見つかった集団としての課題もありました。生活の中でさまざまな失敗があることは当たり前です。そして、**失敗は挫折ではありません。失敗して、そこであきらめてしまうことが挫折なのです。**自身の課題や失敗をこれからの成長に生かすことができれば、その失敗は「**価値ある失敗**」になります。一人一人がもう一度これまでの中学校生活を振り返ってみてください。そして、**2026年、みなさんはいよいよ先輩になります。**3学期をそのための準備期間である、**2年0学期**として価値ある毎日を過ごしていきましょう。

今年最後にみなさんに元・聖路加病院名誉院長、故日野原重明さん書いた詩を贈ります。

鳥は飛び方を変えることはできない。

動物は這(は)い方、走り方を変えることはできない。

新しい習慣の選択を人間は決意できる。

それにより、人間は生き方を変えることができる。

繰り返す毎日の行動を変えることにより、新しい習慣形式ができあがる。

人間には選択の自由がある。

そして、自分の意志と自分の努力により、新しい自己を形成することができる。

それが、人間と動物とを根本的に区別するものといえよう。

古代中国の思想家である孔子は「論語」という書物の中で「性は相近し、習いは相遠し」（＝生まれた時の性質は誰でもそう変わらない。習慣や教育によってへだたりができてくる）と説きました。生まれついた性質は人間だれしもそう変わらないけれど、習慣や教育によって違いが生ずるということです。

そう、自分自身の人生や将来は、自分で選び作り上げるもので、初めから決まった運命などないということでしょう。本気で変えたいと思えば、人は自分の人生や将来を変えられるのです。

**メリークリスマス！&ハッピーニューイヤー！**

**みなさん一人一人にとって**

**素敵な冬休みを過ごしてください。**

**そして、2026年が素晴らしい年になりますように♡**

□ 3学期の予定

| 月/ 日（曜） | 行事予定             | 備考   |
|---------|------------------|------|
| 1/ 5（月） |                  |      |
| 1/ 6（火） |                  |      |
| 1/ 7（水） | 冬季休業終            |      |
| 1/ 8（木） | 始業式              | 給食なし |
| 1/ 9（金） | 移動教室前検診<br>ヤギカフェ |      |